

## 令和7年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要

国立大学法人鹿児島大学

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律(平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。)第8条第1項の規定に基づき、令和7年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を下記のとおり、公表する。

### 記

#### 1. 令和7年度の経緯

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針(令和5年2月24日変更閣議決定。以下「基本方針」という。)に基づき、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約(以下「環境配慮契約」という。)を推進した。

#### 2. 環境配慮契約の締結状況

- (1) 電気の供給を受ける契約(高圧・特別高圧:3件、低圧電力:1件)について、裾切り方式(注1)による業者の選定を行った。
- (2) 設計業務(新築、増築等2件)について、温室効果ガス等の排出の削減に配慮する内容を含む技術提案を求め、総合的に勘案して最も優れた技術提案を行った者を特定する環境配慮型プロポーザル方式を採用した。
- (3) 産業廃棄物処理に係る契約(収集運搬+処分業:2件)について、裾切り方式(注2)による業者の選定を行った。

(注1)当該入札の申込者のうち、二酸化炭素排出係数、未利用エネルギー活用状況及び再生可能エネルギー導入状況、需要家への情報提供をそれぞれ点数化し、その合計が基準以上である者の中から、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とするもの。

(注2)当該入札の申込者のうち、環境・CSR報告書、温室効果ガス排出削減計画・目標、従業員への研修・教育、優良適正(遵法性)事業の透明性、環境配慮の取組、電子マニフェスト、財務体質の健全性をそれぞれ点数化し、その合計が基準以上である者の中から、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とするもの。

#### 3. その他の環境配慮契約に係る事項

環境配慮契約を推進するため、環境配慮契約法の概要及び基本方針について、大学内の物品購入等契約及び工事契約担当部署に周知した。

以上